

大会冬季大会並びに第二回福島県高等学校体育大会冬季大会について

第二十回日本学生科学賞

塙中・保原高など
精れの全国へ販

化学クラブ（部員九人）
△中学校の部入選△

入賞者

研究主題　藤原池のアランクトン
その1・その2

全日本科学教育振興委員会主催（讀
売新聞社後援、文部省・科学技術庁協
賛）の昭和五十一年度第二回日本学生

科学賞は、きじしい地方審査をパスした中学校百四十一点、高校九十五点の計二百三十六点が、中央審査で厳され、中学校十点、高校九点、計十九点の優秀賞に加え、一、二、三等入選八十点の総計九十九点が、一月九日発表されました。

本県では、中学の部で、塙町立塙中学校科学クラブが、「全日本科学教育振興委員会賞」を、高校の部では、県立保原高校化学クラブが、「科学技術庁長官賞」を受賞しました。

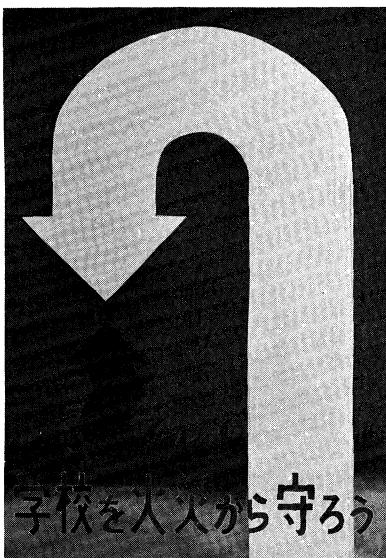
本県の理科教育は、全国のトップレベルにあり、今後のいっそうの振興が期待されております。

入賞・入選校は次のとおりです。

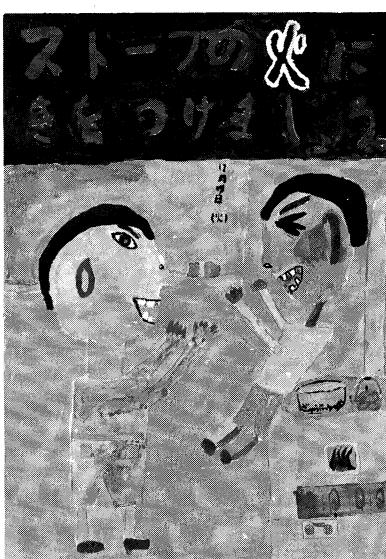
◆全日本科学教育振興委員会賞

研究主題「『カナツボ石』の研究

科学クラブ（部員三十三人）
△高校の部入賞△



1位
北会津村立北会津中学校 3年後庵野一彦



2位 飯館村立比曾小学校 1年中島元一



2位
会津若松市立共和小学校 6年五十嵐謙一

◆科学技術庁長官賞

研究主題 「いわき地方における第四紀の地盤変動Ⅳ」

すが、本年は、小学校千五百十四点、中学校二百五十三点、計千七百六十七点の応募があり、審査の結果、一位一点、二位二点、三位二点、佳作七十七点、計八十二点が入賞しました。

次に一位、二位の入賞作品を紹介します。

学校防火思想の普及徹底を図るとと

もに、学校施設の愛護運動を推進するため、県教育委員会では、毎年、県内小中・養護学校児童生徒から学校防火ポスターを募集し、コンクールを実施していま

福島県伊達郡飯野町立飯野中学校
科学クラブ（部員七人）
△高校の部入選

二等賞
研究主題 「鐘乳洞の微気候について—仙台平石灰岩台地に発達する洞くつ群の例」

福島県立安達高等学校
地学部（部員十人）

△三等賞

福島科研究二等賞
福島地三等賞

学クラブ（
県伊達郡飯
部入選）

野町立飯野中学校 部員七人)

もに学校施設の愛護運動を推進するため、県教育委員会では、毎年、県内小中養護学校児童生徒から学校防火ポスターを募集し、コンクールを実施していま

よつとした
不注意力